

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公表番号】特表2002-523911(P2002-523911A)
 【公表日】平成14年7月30日(2002.7.30)
 【出願番号】特願2000-565601(P2000-565601)
 【国際特許分類】

H 0 3 B 5/08 (2006.01)

G 0 7 D 5/08 (2006.01)

【F I】

H 0 3 B 5/08 A

G 0 7 D 5/08 1 0 4

【手続補正書】
 【提出日】平成18年7月21日(2006.7.21)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも1つの共通インダクタを有する複数の共振回路を備え、各共振回路の共振周波数が、少なくとも、前記共通インダクタのインダクタンスおよび前記共振回路のそれぞれの周波数決定構成部品によって決まり、前記インダクタが、前記共振回路の前記それぞれの共振周波数に対応する複数の周波数で同時に駆動することができる、発振回路。

【請求項2】 前記共振回路が少なくとも2つの共通インダクタを有する、請求項1に記載の発振回路。

【請求項3】 前記2つの共通インダクタが1つの共振回路中では直列に接続され、別の共振回路中では並列に接続された、請求項2に記載の発振回路。

【請求項4】 それぞれの周波数で出力信号を得るための複数の出力節点を含み、少なくとも1つの出力節点が、他の節点で得られる出力周波数の信号ゼロを構成する、請求項1乃至3のいずれか一項に記載の発振回路。

【請求項5】 各出力節点が、他の複数の節点で得られる出力周波数の信号ゼロを構成する、請求項4に記載の発振回路。

【請求項6】 1つの周波数に対する出力節点が、別の周波数に対する事実上の接地を構成する、請求項4または5に記載の発振回路。

【請求項7】 1つの周波数に対する出力節点が、別の周波数の大きさが等しく極性が反対の信号を受け取る、請求項4、5または6に記載の発振回路。

【請求項8】 第1の前記共振回路を組み込む発振器を形成するように、フィードバックループにおいて直列相互接続された一組のインダクタを備え、前記直列相互接続の一端での発振が、前記直列相互接続の他端での発振と大きさが等しく極性が反対であり、そのため、前記発振が、前記インダクタンス間の相互接続に実質的に現れず、さらに、前記相互接続に異なる周波数の発振を発生させるように構成された第2の共振回路を組み込むさらなる発振器を備える、請求項1乃至7のうちのいずれか一項に記載の発振回路。

【請求項9】 前記異なる周波数で前記相互接続インダクタンスの対抗する端部間に短絡を有効に発生させる手段を含む、請求項8に記載の発振回路。

【請求項10】 請求項1乃至7のいずれか一項に記載の発振回路において、前記共振回路が一組の共通インダクタンスを有し、前記インダクタンスは、直列接続イ

ンダクタンスの値により決定される第 1 の周波数で発振するよう構成された一つの共振回路において、直列接続されており、

前記発振回路がさらに、前記直列接続インダクタンスの両端間に有効な短絡を与え、これによって他方の共振回路において、前記インダクタンスが、前記有効な短絡と前記直列相互接続の間に並列に接続され、第 2 の共振回路が、やはり前記インダクタンス値によって決まる、実質的に異なる第 2 の周波数で発振するようにする手段を備える、請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の発振回路。

【請求項 1 1】 前記有効な短絡が前記第 2 の周波数では有効だが、前記第 1 の周波数では有効でない、請求項 1 0 に記載の発振回路。

【請求項 1 2】 請求項 1 乃至 1 1 のいずれか一項に記載の発振回路を備える硬貨バリデータであって、前記発振回路が少なくとも 2 つの異なる周波数の出力を有し、前記出力が、前記硬貨バリデータによってテストされる硬貨の通過の影響を受ける、硬貨バリデータ。

【請求項 1 3】 前記 2 つの出力を監視して、前記硬貨の近接に起因する前記出力の変化によって決まる前記硬貨の測定値を生成する手段を含む、請求項 1 2 に記載の硬貨バリデータ。

【請求項 1 4】 前記発振回路が、前記硬貨経路の両側に 1 つずつ配置された一対のコイルを備える、請求項 1 2 または請求項 1 3 に記載の硬貨バリデータ。

【請求項 1 5】 被覆硬貨の妥当性を検査するように構成され、一方の前記周波数が、前記硬貨の被覆材料によって実質的に決まる測定値を与えるように構成され、他方の前記周波数が、前記硬貨の内部材料によってかなりの影響を受ける測定値を与えるように構成された、請求項 1 2 から 1 4 のいずれか一項に記載の硬貨バリデータ。

【請求項 1 6】 硬貨の所定の集合を表す受入れ基準を記憶する手段を含み、前記硬貨の少なくとも 1 つが被覆硬貨である、請求項 1 2 から 1 5 のいずれか一項に記載の硬貨バリデータ。